

ほすびたる

No.773

令和 6 年 7 月 20 日
福岡県病院協会

C O N T E N T S

会員広報	福岡県病院協会 第12回定時会員総会	公益社団法人福岡県病院協会事務局	1
声	『師』と『士』と学び	公益社団法人福岡県病院協会 参与 中西裕二公認会計士・税理士事務所	中西 裕二 6
新人物	院長就任のご挨拶	医療法人柳育会柳病院 院長	中野 昌彦 8
病院管理	臨床検査技師も働き方改革「働きやす い・働きがいのある職場づくり」を目 指して ～スマイルプロジェクト 検査部～	福岡市立病院機構 福岡市立こども病院 検査部技師長	安部 朋子 9
看護の窓	高齢者の人権と意思を尊重する 「高齢者見守りたい（隊）！」の活動	久留米大学病院 副院長・看護部長	山本 都江 12
Letter	医学・医療の歴史物語 ～その6 新千円札の顔、北里柴三郎	国立病院機構九州医療センター 名誉院長 学校法人原学園原看護専門学校 顧問	朔 元則 14
Essay	人体旅行記 乳房（その二十二）	国立病院機構都城医療センター 院長	吉住 秀之 18
■福岡県私設病院協会 令和 6 年 5 月～6 月の動き			19
■福岡県病院協会だより			20
■編集後記			岡嶋泰一郎 31

Teleradiology Service. and ASP Service.

確かな診断を、より確かなものに。
ネットワークを利用した読影サービスで、
あなたをバックアップします。



Teleradiology

～遠隔画像診断サービス～
医療に地域格差があってはならない
そう私たちは考えます。

ASP Service

～遠隔画像診断ASPサービス～
放射線科の先生方向けに、遠隔
読影システムから課金に至るまで
統合的にサービスをご提供します。

株式会社ネット・メディカルセンター

〒815-0081 福岡市南区那の川1丁目24-1
九電工福岡支店ビル6階
フリーダイヤル:0120-270614 FAX:092-533-8867
ホームページアドレス <http://www.nmed-center.co.jp/>

病院寝具・病衣・白衣・タオル及びカーテン・ベッドマットのリース・洗濯
入院セット・患者私物衣類の洗濯・紙おむつ・介護用品等の販売

福岡県私設病院協会グループ

福岡医療関連協業組合

理事長 中尾 一久

専務理事 津留 英智
理事 江頭 啓介
理事 松村 順
理事 木村 寛

理事 鬼塚 一郎
監事 田中 圭一
監事 横倉 義典
事務局長 日比生 英一



JQA-QMA
15863



〒811-2502 糟屋郡久山町大字山田1217-17
TEL(092)976-0500 FAX(092)976-2247

Clean & Comfortable

清潔さと快適さを追求します



福岡県病院協会 第12回定時会員総会

日時 令和6年6月25日(火) 17:00~17:30
場所 ANAクラウンプラザホテル福岡
(福岡市博多区博多駅前3丁目3番3号)
総会出席者 当日出席者 29名, 委任状提出者 140名
計 169名(総会員数 241名中)

会員公報

◎公益社団法人福岡県病院協会事務局

■開会宣言

平専務理事は、第12回定時会員総会開会を宣言。

■総会成立宣言

岡嶋泰一郎議長は、総会員数 241 名に対し、出席者は委任状を含め 169 名と会員の過半数を超えており、定款第 17 条に照らし総会が適法に成立していることを報告。

■会長挨拶

中村雅史会長挨拶。

■議事録署名人選出

岡嶋議長は、本日の議事録署名人として、谷口雅彦 社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院病院長と横倉義典 ヨコクラ病院病院長を選出。

■議案審議（岡嶋議長）

○第1号議案「令和5年事業報告について」

平専務理事から、概ね次のように報告された。

I 総務関係 ～会員数について

入会者は1会員、退会者は2会員であり、この結果、同年度末現在の会員数は243会員である。

II 総会の開催状況

令和5年6月27日に第11回定時会員総会を開催し、令和4年度事業報告など4つの議案を審議いただき、いずれも原案どおり承認された。

また、令和6年3月26日に臨時会員総会を開催し、令和6年度事業計画など3つの議案を審議いただき、いずれも原案どおり承認された。

III 理事会について

第85回から第90回まで6回、臨時理事会

1回の計7回開催し、会務の執行に当たった。（詳細は議案書に記載のとおり）

IV 「ほすびたる」関係

編集委員会を計6回開催し、隔月、20日に合計6回発刊した。

（詳細は議案書に記載のとおり）

V 研修会・県民公開医療シンポジウム関係

1 各種委員会等の開催状況

看護、リハビリテーション委員会を各2回、企画委員会を5回、その他の委員会を各1回開催した。

（詳細は議案書に記載のとおり）

2 各種研修会・県民公開医療シンポジウムの実施状況

次のとおりであった。

研修会一覧

月別	研修会名	開催日	会場	参加人数
7月	第167回看護研修会	R5. 7. 27	ナースプラザ福岡	100名
8月	第168回看護研修会	R5. 8. 28 ～ 8. 29	九州大学医学部百年講堂	213名
9月	第169回看護研修会	R5. 9. 22 R5. 9. 23～28	セミナー配信 オンデマンド配信	255名
10月	第1回リハビリテーション研修会	R5. 10. 7	九州大学医学部百年講堂	97名
	第71回栄養管理研修会	R5. 10. 14	WEB配信	114名
2月	令和5年度病院研修会	R6. 2. 7	九州大学医学部百年講堂	250名
	第64回診療情報管理研究研修会	R6. 2. 15	九州大学医学部百年講堂	87名
3月	第1回経営管理研究会	R6. 3. 4	九州大学医学部百年講堂	128名
	第8回臨床検査研修会	R6. 3. 9	浜の町病院 (WEBとのハイブリッド)	48名
	第2回リハビリテーション研修会	R6. 3. 27	九州大学医学部百年講堂	259名
	第123回医療事務研究会	R5. 3. 28	九州大学医学部百年講堂	181名

Ⅵ その他の事項

例年の事項であるが、四県病院協会連絡協議会に参加し意見交換したほか、「カネミ油症患者に関する治療費の支払いについての契約」を1年間更新した。

(詳細は議案書に記載のとおり)

以上、第1号議案については、全員の拍手をもって承認された。

○第2号議案「令和5年度収支決算について」

Ⅰ 令和5年度収支決算

伊東財務理事から、令和6年3月31日現在における貸借対照表、当期における正味財産増減計算書及び同内訳表等に基づき説明があった。なお、「貸借対照表」及び「令和5年度正味財産増減計算書内訳表」は、次のとおりである。

貸 借 対 照 表

(令和6年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅰ 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	6,628,027	4,774,547	1,863,480
普通預金	6,116,210	4,233,580	1,882,630
福岡銀行赤坂門支店	6,116,210	4,233,580	1,882,630
定期預金	500,173	500,173	0
郵便振替	11,644	40,794	-29,150
前払金	19,240	41,970	-62,870
流動資産合計	6,647,267	4,816,517	1,830,750
2 固定資産			
(1) 基本財産			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	9,893,282	8,972,473	920,809
財政調整積立金	5,968,800	5,993,400	-24,600
特定資産合計	15,862,082	14,965,873	896,209
固定資産合計	15,862,082	14,965,873	896,209
資産の部合計	22,509,349	19,782,390	2,726,959
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金	510,311	169,153	341,158
前受金	203,600	143,600	60,000
会費	60,000	60,000	0
広告料	83,600	83,600	0
その他	60,000		60,000
預り金	311,794	151,396	160,398
社会保険料	194,532	72,999	121,533
雇用保険料	70,542	35,467	35,085
源泉所得税	46,720	42,940	3,780
流動負債合計	502,007	525,678	-23,671
2 固定負債			
退職給付引当金	11,969,900	11,693,200	276,700
固定負債合計	11,969,900	11,693,200	276,700
負債の部合計	12,995,605	12,157,349	838,256
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
2 一般正味財産	9,513,744	7,625,041	1,888,703
正味財産の部合計	9,513,744	7,625,041	1,888,703
負債及び正味財産合計	22,509,349	19,782,390	2,726,959

正味財産増減計算書内訳表（抜粋）
（令和５年４月１日から令和６年３月31日まで）

（単位：円）

科 目 名	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	合 計
	シンポジウム	研 修	公益共通	小 計	機関紙	研究会	収益共通	小 計		
I 一般正味財産増減の部										
1 経常収益										
(1) 経常収益										
特定資産運用益	12	11,133		11,145	5	1		6	10	11,161
受取入会金			5,000	5,000					5,000	10,000
受取会費			5,083,750	5,083,750			2,178,750	2,178,750	7,262,500	14,525,000
事業収益	570,000	7,026,000		7,596,000	1,119,500	1,251,500		2,371,000		9,967,000
受取補助金等	625,000	1,875,000		2,500,000	2,888,000	722,000		3,610,000		6,110,000
雑収益			46	46					16	62
経常収益計	1,195,012	8,912,133	5,088,796	15,195,941	4,007,505	1,973,501	2,178,750	8,159,756	7,267,526	30,623,223
(2) 経常費用										
事業費	4,115,956	13,155,846		17,271,802	5,554,626	1,149,766		6,704,392		23,976,194
管理費									4,684,519	4,684,519
経常費用計	4,115,956	13,155,846		17,271,802	5,554,626	1,149,766		6,704,392	4,684,519	28,660,713
特定資産評価損益等		-23,807		-23,807						-23,807
当期経常増減額	-2,920,944	-4,267,520	5,088,796	-2,099,668	-1,547,121	823,735	2,178,750	1,455,364	2,583,007	1,938,703
2 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
(2) 経常外費用										
特定資産売却損										
退職給付引当金減額										
経常外費用計										
当期経常外増減額		0		0	0	0		0	0	0
他会計振替額			72,723	72,723			-72,723	-72,723		
税引前当期一般正味財産増減額	-2,920,944	-4,267,520	4,842,906	-2,026,945	-1,547,121	823,735	2,106,027	1,382,641	2,583,007	1,938,703
法人税、住民税及び事業税									50,000	50,000
当期一般正味財産増減額	-2,920,944	-4,267,520	4,842,906	-2,026,945	-1,547,121	823,735	2,106,027	1,382,641	2,533,007	1,888,703
一般正味財産期首残高	-27,789,187	-42,813,657	47,696,303	-22,915,541	-21,360,059	9,144,282	16,799,783	4,584,006	25,956,576	7,625,041
一般正味財産期末残高	-30,719,131	-47,082,177	52,539,209	-24,942,486	-22,907,180	9,968,017	18,905,810	5,966,647	28,489,583	9,513,744
II 指定正味財産増減の部										
III 正味財産期末残高	-30,719,131	-47,081,177	52,539,209	-24,942,486	-22,907,180	9,968,017	18,905,810	5,966,647	28,489,583	9,513,744

II 監査報告

野村監事による当期の計算書類が適正に処理されており事業報告も適正である旨の監査報告について、平専務による代読が行われた。

以上、第２号議案については、全員の拍手をもって承認された。

○ 第３号議案「任期満了に伴う役員の改選等について」
平専務理事は、現在の理事、監事、議長及

び副議長の全員が本定時会員総会の終結と同時に任期満了し、退任することとなるので、新たに選任する必要がある、5月29日付で、全会員あてに立候補届及び推薦届の提出を依頼したところ、締切日の6月12日までに、理事には中村雅史九州大学病院病院長ほか計22名が、監事には野村秀幸社会医療法人原土井病院院長ほか計2名が、議長には岡嶋泰一郎社会保険仲原病院顧問が、副議長には樋口雅則福岡ハートネット病院院長がそれぞれ立候補され、いずれも定款に定める定数以内であることを説明した。

なお、本総会において選任された場合、任期は、本日の総会終了後から令和8年度の定時会員総会の終結時までとなる旨を補足した。

議長は、本議案について質疑等を求めたが、特に質疑や異議の申し出等は無かったため、選任手続きに入った。議長は、定款第17条第3項の規定に基づき、「理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに行わなければならない」ことを説明のうえ一人ずつ決議する旨を述べ、候補者ごとに賛成者の拍手を求めたところ、中村雅史候補者ほか計22名の理事候補者全員が、過半数を超える拍手により選任された。

次に議長は、監事の選任に移り、同様にして、野村秀幸候補者ほか計2名の監事候補者全員が、過半数を超える拍手により監事に選任された。

さらに、議長は議長及び副議長の選任に移り、同様にして、岡嶋泰一郎候補者が議長に、樋口雅則候補者が副議長に選任された。

続いて、本議案の後半部分である退任予定者への顧問委嘱案の審議に入った。平専務理事は、今期で退任する一宮副会長の顧問就任について、会員総会の議決を求めた。議長が順に議場に諮ったところ、全員の顧問就任が全員の拍手により承認可決された。

○ 第4号議案「異動に伴う参与の委嘱について」

平専務理事は、現在の参与については2年

間の任期がこの6月末で終了するため、新たな参与の推薦を各団体をお願いしたところ、第4号議案にある方々が推薦されたと報告した。なお、任期は、来月から2年間となることを補足した。

議長は、本議案について質疑等を求めたが、特に質疑や異議の申し出等は無かったため、議場に諮ったところ、過半数を超える拍手をもって承認可決された。

■ 議案審議終了

岡嶋議長の議案審議終了宣言。

■ 総会終了

平専務理事から、議長に対する謝辞と閉会を開催する旨が述べられ、第12回定時会員総会は滞りなく終了した。

■ 臨時理事会

会長等の選出を行うため、総会終了後直ちに、新役員による臨時理事会を開催した。（理事総数22名中、出席理事20名。出席監事2名）

前専務理事の平理事が暫定議長となり、本理事会は理事及び監事全員の同意があったので、招集の手続きを経ることなく開催する旨宣言し、開会した。また、本理事会は定款第32条第1項に定める定足数を満たしており、適法に成立していることを告げ、次の議案の審議に入った。なお、第1号議案の審議終了後、議長は新会長に引き継がれた。

○ 議題1号議案「代表理事（会長）の選任について」

○ 議題2号議案「副会長、業務執行理事等の選定について」

○ 議題3号議案「各種委員会担当理事の選定について」

審議の結果、中村雅史理事が引き続き代表理事（会長）に選定されたほか、「役員等名簿」記載のとおり決定された。

公益社団法人福岡県病院協会 役員名簿

(役員任期：令和8年度定時会員総会終結時まで)

役職名	氏 名	所属病院 及び 役職
会 長	中村 雅史	九州大学病院 病院長
副 会 長	野村 政壽	久留米大学病院 病院長
副 会 長	田中 文啓	産業医科大学病院 病院長
副 会 長	三浦伸一郎	福岡大学病院 病院長
副 会 長	平 祐二	医療法人原三信病院 理事長
専務理事	壁村 哲平	済生会二日市病院 院長
総務理事	岩永 知秋	久山療育園 重症児者医療療育センター センター長
財務理事	伊東 裕幸	宗像医師会病院 病院長
企画理事	中房 祐司	福岡赤十字病院 院長
理 事	岩崎 浩己	国立病院機構九州医療センター 院長
〃	大村 重成	医療法人緑心会福岡保養院 理事長・院長
〃	志波 直人	朝倉医師会病院 院長
〃	島 弘志	社会医療法人天神会 副理事長・総病院長
〃	谷口 修一	国家公務員共済組合連合会浜の町病院 病院長
〃	谷口 雅彦	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院 病院長
〃	津留 英智	社会医療法人水光会宗像水光会総合病院 理事長
〃	中尾 一久	医療法人社団久英会高良台リハビリテーション病院 理事長
〃	松浦 弘	済生会福岡総合病院 院長
〃	本村 健太	飯塚病院 院長
〃	山下 博徳	国立病院機構小倉医療センター 院長
〃	横倉 義典	ヨコクラ病院 院長
〃	渡邊憲太郎	医療法人西福岡病院 院長
監 事	野村 秀幸	社会医療法人原土井病院 院長
〃	楠原 浩一	福岡市立病院機構福岡市立こども病院 院長
議 長	岡嶋泰一郎	社会保険仲原病院 顧問
副議長	樋口 雅則	福岡ハートネット病院 院長
顧 問	今泉暢登志	医療法人済世会河野病院 院長
〃	河野 正美	医療法人済世会河野病院 理事長
〃	瓦林達比古	(一社)福岡県社会保険医療協会 理事長
〃	久保 千春	中村学園大学・中村学園短期大学部 学長
〃	石橋 達朗	九州大学 総長
〃	岡留健一郎	済生会福岡医療福祉センター 総長
〃	上野 道雄	国立病院機構福岡東医療センター 名誉院長
〃	寺坂 禮治	令和健康科学大学 学長
〃	赤司 浩一	九州大学病院 第一内科教授
〃	一宮 仁	国家公務員共済組合連合会浜の町病院 顧問

(令和6年6月25日現在)

声

『師』と『士』と学び



公益社団法人福岡県病院協会 参与 中西 裕二
中西裕二公認会計士・税理士事務所

医業では、医師、看護師、薬剤師、レントゲン技師など「師」がつく職種が多いと思います。作業療法士や理学療法士など「士」がつく職種もあります。私たち公認会計士は、弁護士、税理士、司法書士、社会保険労務士、行政書士や不動産鑑定士などと同じく「士業」ということになりますが、職業の話をする際に『師』と『士』どちらですか?と聞かれることがあります。

「師」と「士」の違いを Bing に聞いてみたところ、『師』と『士』は特定の職業や専門的な知識を持つ人々を指すことが多いが、明確な使い分けはない。「師」は教育や指導に関連する職業や、特定の技能を持つ人物への尊敬を込めて使われ、「士」は専門的な職業や資格を持つ人々を指す言葉として広く使われている。」との回答（抜粋）でした。専門的知識や特定の技能に基づき仕事することで尊敬（プラス感謝）を得られるのが「師」、専門的知識に基づく資格を得て許可される職業が「士」ということだと思います。ただ、医師、看護師、薬剤師も資格を得ていますし、作業療法士や理学療法士も感謝され尊敬される職業なので、おおまかな解釈ですが。

両者の共通点は、専門的な知識に基づき仕事をする、ということ。尊敬や報酬など得られるものも多く、達成感もありプライドも持てる仕事ですが、反面、責任の重さや知識取得のための努力という大きな負担を担ってます。

数年前、九州大学医学部の1年生の授業と一緒に聞かせて頂く機会がありました。診断の考え方のお話しでしたが、「病気の原因を特定す

るためには、検査結果や問診を基に、症例に照らしてありえない組み合わせを消去し、最後に残った可能性を精密に検査して確定するのだ」という内容でした。一つの可能性をストレートに探る方法と比較して、何回も検証を繰り返すので、大幅に時間が掛かり、また、膨大な知識のベースに加えて、事象を組み合わせて考える訓練が必要だと思われます。しかし、この方法なら確実に診断でき、誤診の可能性は低くなります。

別の機会に問診ソフトのプロトタイプも見せて頂いたこともありましたが、「判断の材料を漏らさず確実に患者から聞き取るためには、パターン化が大事」という内容だったと記憶していますが、医師の皆さんの働き方の根底に触れた気がして、感銘を受けました。

翻って私たちの職業である士業は、法律や規程の専門的知識を基に判断し、可否を考えることが多いのですが、「法第何条にこう書いてあるからダメです」、「専門書にこう書いてあるからダメです」とストレートに回答することがよくあり、期待して相談したお客様は必ずがっかりします。

実は、検討している案件が、法や規程に書いていることと全く同じ条件ではない場合や、専門書で説明されているケースと似ていますが、判断のための重要な要件が異なることはよくあります。また、一見、その法律や規程をクリアできているように見えても、他の法律や規程に抵触し、大きな問題となることもあり得ます。そうなったら、尊敬どころか、損害賠償ものです。

私の妻は薬剤師ですが、ミスや判断誤りの話をすると、詰めが甘いと指摘されます。「それでも人は殺さないのだから良いよね。薬剤師はそんなミスは許されない」と。

確かに医業は命を預かる。いやいや、私たちだってお客さんの会社を窮地に陥れかねないし、仕事生命がかかっているので、常に真剣勝負なのです。

そこで、私はチームメンバーが Yes と言ったら、あえて反対の No の可能性を模索して提示し、チームが No と言ったら Yes の可能性を模索して提示します。そしてディベートすることにしています。私が提示した可能性がないことを確認し、メンバー達の当初の答えを再検証するとともに、案件を構成する他の法律などの周辺の条件も検証して、影響を再確認します。全ての阻害要因が消えたら、ドーナッツに例えて、中心の穴の部分が答えだと言っています。

九州大学の先生の診断の授業を伺った時に、プロセスが同じと感じ、「これで良いのだ!」と確信しました。最初の答えが正しいことも多いので、効率が悪いと感じるのか、チームメンバー達にこのプロセスをなかなか納得してもらえないのですが、私はこれこそ、学びのチャンスと考えています。根拠法律、規程、専門書の再確認、情報、知識の整理、案件への当てはめを繰り返し行い、総合的に判断することはコスト? いやいや、大事な学びであり、私達の存在意義そのものに他なりません。案件の答えの精度を高めるために重要であり、自信を持ち、責任を持って答えを出し、「専門的知識を持って仕事をする者」として必要なプロセスです。リスクを軽減し、回避し、結果としてお客様に感謝され尊敬されることにも繋がり、さらに、一度整理した情報は、知識として格納され、次の仕事に活かすことができるのです。

最近、AI に淘汰される職業の話がよく話題に上りますが、データベースに依拠する A I

は、条件付けの精度を高めて人の判断を擬するものであるため、このプロセスをよりしっかりと学べば、淘汰されることはないと確信しています。むしろ助けになると思っています。

医師や医療チームの「師」の皆さんは、当たり前のように実行されていることであり、それ故、皆さんは「師」として感謝と尊敬を得られています。このプロセスが「師業」にとっても「士業」にとっても、同じく自らの存在意義そのものであることは、間違いありません。

新型コロナウイルスまん延期、未知の脅威に立ち向かう中で、学びの重要性は大きかったと思います。最近は新たな感染症の情報も出てきており、困難な時代になりましたが、医業の皆さんが脅威と戦う中で、しっかりと学びながら継続していけるような環境、制度が整うことが非常に重要であると推察いたします。

医療の分野こそ、本当の意味での「働き方改革」が必要と捉えており、私たち士業も、環境、制度の整備においてはお役に立てることがあると思います。

先日、他県の若い救急病院長とお話しさせて頂く機会がありました。医師の働き方改革に対応し、夜間の軽度の症状でオンライン診断を活用し、疑問がある場合は当直医が対応する、そのような取り組みも必要だというお話しでした。最初は、「大丈夫なのか?」という疑問を持ちましたし、年配の医師の反対も相当あったとお聞きしました。しかしながら、実際の運用状況も伺い、現状の問題を解決するためには、選択してトライして行くことも重要であり、これもまた一つの学びであると納得しました。

これまでいくどか皆さんの医業と私たち士業の接点を考えながら「声」に投稿させて頂きました。毎回楽しませて頂きました。今回は最後になりますが、このような機会を頂きありがとうございました。

院長就任のご挨拶

医療法人柳育会柳病院

院長 中野 昌彦



先々代の浦口憲一郎先生、先代の才津秀樹先生の後を引継ぎ、2024年4月に医療法人柳育会柳病院の院長を拝命した中野昌彦です。私は1966年生まれの久留米市出身です。家業は先祖代々、農業でした。地元の小学校、中学校から久留米大学附設高校に進みました。そこで多くの無二の友人を得ることが出来ましたが、彼らに感化されて医師を志すようになりました。1991年に九州大学を卒業して九州大学第一外科（現在の九州大学大学院 臨床・腫瘍外科。当時、田中雅夫教授）に入局しました。九大病院と関連病院で5年間の外科研修した後、学位論文のテーマとして膵島移植を自分で選択し、福岡大学第一外科（当時、池田靖洋教授）の安波洋一准教授の研究室に加えて頂きました。福大には米国ミネソタ大学への2年半の留学も含めて12年間お世話になり、膵島移植の基礎及び臨床研究だけでなく外科臨床にも従事しました。その間、2006年に九州、沖縄で初めての臨床膵島移植に参加出来たことは、今でも大きな誇りであります。父が病に倒れたのを契機に地元の久留米に戻ることにしました。2009年に久留米大学第二外科（当時、青柳成明教授）に入局させて頂き、雪の聖母会聖マリア病院に入職しました。その後、2013年に医局人事で地方独立行政法人筑後市立病院に外科統括診療部長として赴任し、2021年に副院長に就任しました。柳病院には筑後市立病院に赴任して以来、ちょうど10年間、週1回非常勤として手術、外来のお手伝いをしていましたが、昨年4月に

筑後市立病院を退職して柳病院に常勤として勤務していました。

柳病院は1970年に初代理事長の故柳東先生が八女市を南北に走る国道3号線沿いに26床で開業されました。その後、増築、増床して現在は一般86床、療養21床、地域包括28床の計135床です。現在の2代目理事長の柳克司先生も私も消化器外科医で、その他に消化器内科専門医のスタッフが充実しているので消化器疾患を中心に救急車（年間約300台）を含めて急患の受け入れから手術、抗癌剤治療、ターミナルケアまで取り組んでいます。昨年度は胆石、鼠径ヘルニア、虫垂炎等の腹腔鏡手術を109例施行しました。少ないスタッフで協力して頑張っています。その他に柳病院では脳神経内科、呼吸器外科、泌尿器科の専門医師がパーキンソン病等の神経難病、肺炎やCOPD、尿路結石、前立腺肥大等、それぞれの専門分野で診療にあたっています。また、久留米大学病院等の近隣の病院からご支援を受けて、循環器、整形外科、皮膚科等の専門外来も開いています。医療法人柳育会では柳病院の他に回復期リハビリテーション病院である八女リハビリ病院（190床）、介護老人保健施設、在宅支援センター、健診クリニック、メディカルフィットネスを半径1kmほどのエリアで運営しており、それぞれの施設が密に連携して総合的な医療提供を行っています。

今後とも、ご指導、ご鞭撻のほどをどうぞよろしくお願いいたします。

臨床検査技師も働き方改革「働きやすい・働きがいのある職場づくり」を目指して ～スマイルプロジェクト 検査部～

福岡市立病院機構福岡市立こども病院
検査部技師長

安部 朋子

今年は桜の満開の時期が平年と比べて遅めとなり、新年度は桜満開のなかで始まりました。職場に新入職員が配属されているご施設も多いと思います。管理職の私たちは、“就職した職場には終身雇用で働き続けるもの”という固定概念を取り払い、働き方に対する多様な考え方を尊重していくことが求められていると思います。

臨床検査技師の離職率は他の職種に比べて低い方だとは言われますが、当院ではここ数年間で数名の退職者がありました。職員の離職を防ぎ定着率の向上を図るには、働きやすい環境、働きがいのある環境づくりが重要との思いを胸に職員とともに働き方改革に取り組んでいますので、私見を交えながらご紹介したいと思います。

○ 転職はキャリアアップを目指した前向きの行動

4月から医師の働き方改革の新制度が施行されました。当院では数年前からタスクシフト/シェアについて取り組んでいます。腹部超音波検査など、医師から完全に検査部に移管できた業務もありますが、業務を依頼されても一部しか受けることができない、もしくは受けることが難しいことがあります。業務量は増えても臨床検査技師の増員はありません。慢性的な人員不足で現行の業務をこなすのに精いっぱい、タスクシフトどころか、自己研鑽や人材教育を進めることさえ十分にできません。「働き方改革」は医師だけではなく、働く人すべてに必要なだと思います。

近年転職に対するイメージは以前に比べてかなりポジティブで前向きなものと考えられてい

ます。臨床検査技師含めてメディカルスタッフの離職率も以前に比べて高いように感じます。臨床検査技師として、他施設で働きたいという希望で退職されることもあります。臨床検査技師自体を辞めて他にやりたいことがある、自分には臨床検査技師としての適性がないと思う、など全く異なる業界を目指して退職される方もいらっしゃいます。転職はキャリアアップを目指した前向きの行動なのです。

○ 働きやすい職場、働きがいのある職場

働きやすさや働きがいの意識を高めると働く意欲が向上し定着率が上がり、業務成績も向上していくと考えられます。

働きやすい職場としてよく言われるのが、「休みがとりやすい、勤務希望が通りやすい」「給与・賞与が高い」「福利厚生が充実している」「意見を尊重してもらえる、コミュニケーションがとりやすい」などがあります。

働きがいがある職場としては、「自分のスキルを活かせる」「教育制度が充実している」「正当な評価制度が整っている」「意見や提案が業務に反映され尊重される仕組みが整っている」などがあり、仕事で得られる満足感が高いと働きがいを得られやすいと思います。働きがいのある職場が働きやすい職場であるのかもしれない。また、仕事に対する考え方は人それぞれで多様性があり、自分のワークライフバランスに合った環境が働きやすい環境なのだと思います。

○ 当院検査部での働き方改革の取り組み

1) 心理的安全性の確保

まず取り組んだのは、円滑なコミュニ

ケーションができる風土づくりです。
「スマイルプロジェクト検査部」と銘打って、自分の意見や感情を自由に表現できることの大切さを職員の皆さんに訴えました。月に一度のミーティングでは、情報の共有と疑問点を尋ねたり違う意見を述べたりして建設的な協議ができる場となっていて、医療安全の推進や医療の質の向上にもつながります。もちろん、ハラスメント防止対策は必須です。

2) 勤務シフト作成の公平性と透明性

私たちは二交代制勤務で、土日祝日夜間は1人体制で時間外業務に従事しています。勤務シフト作成時は公平性と透明性を確保するために、休暇申請のルールや優先項目などについて事前に協議し、申し合わせ書を作成しています。申し合わせ書で取り決めた内容を遵守し、希望の休みは申請通りに確保する、夜勤に入ることができない日の申請日数は上限なし、過剰な連勤は避ける、体調不良など突発的な勤務変更・調整は、職員全員に相談するなど、公平性と透明性を確保するよう心がけています。

3) 勤務時間の見直し

① 始業前のサービス早出を見直す

勤怠管理システムが導入され、出勤・退勤時間をモニタリングすることが可能となりました。多くの職員は任意で始業時間前に出勤し、機器の立ち上げなどを行っていました。必要な業務で労働時間に該当するにもかかわらず、手当が充当されていないことや人によって業務負担に偏りがあり不満の声が上がっていました。これらの業務を当番制にするのか、現行よりも勤務時間帯を早めて対応するのか、職員にアンケート調査を行ったうえで十分に協議を重ねた結果、勤務時間帯は変えずに時間外勤務で対応することに決まりました。現在は時間外手当を漏れなく申請できています。勤務時間帯の

変更はワークライフバランスに直結します。議論を十分に尽くして決めたことなので、不満の声は無くなりました。

② 更衣時間を見直す

当院ではユニフォームに更衣するよう決められている職種は更衣時間5分間を勤務時間として認められています。始業時間までに更衣室で打刻して更衣すればよく、退勤時間の5分前に検査室を退室できます。

4) つながらない権利、つながっている安心感

近年のITツールの発展は目覚ましく、様々なコミュニケーションツールを介して連絡を取り合うことが可能な時代になりました。近年、勤務時間外に業務連絡を拒否できる権利「つながらない権利」が話題になっています。一方で、時間外勤務者が業務時に不安なことや疑問点を部門担当者に確認する連絡先として、職員自ら率先してファーストコール当番表を作成し24時間365日対応しています。この取り組みで時間外担当者はつながっている安心感を得ることができています。職員が自主的に行っているもので業務手当は充当できていません。

5) 自己研鑽を応援します！

任意で入会している学会の年会費や学術集会・講習会・研修会等への出張費の負担は、年間で予算に限りはありますが、公費で負担しています。また、各種認定試験や資格試験の受験に関しても、初回の受験は受験料と宿泊費の負担を行っています。

そもそも働きやすい・働きがいのある職場とは何か、についても全員で協議しながら模索しています。私たちの働き改革はまだ道半ばです。職場環境の改善に取り組むことで職員の心と体が健康となり、質の高い医療の提供、継続的な人材育成に繋がっていくことを願っています。

医療・福祉、介護など全ての医療環境をサポートします

サービス内容

- ・医療機器、医療器具、医療消耗品の販売
- ・病院給食に関連した業務用食材及び厨房器械等の販売
- ・病院、介護施設に関する工事及び物品の販売
- ・臨床検査・水質検査・検便検査から食中毒検査などの検査
- ・看板、チラシ、インターネット等を利用した広告作製

これまで培ったノウハウを生かし、開業前の構想～開業後の施設経営まで九州・沖縄の医療機関、介護施設などの経営を全力でサポートいたします。

有限会社 DMS

(ドリーム・メディカル・サービス)

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号3F
TEL:092-525-7666・7667 FAX:092-525-7668

福岡県精神科病院協同組合

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号2F
TEL:092-521-0690 FAX:092-524-4632



一番大切な思いやり… 「安心・安全・清潔」

TAIYO 太陽セランドグループ
太陽セランドホールディングス株式会社
〒812-0044 福岡市博多区千代 1-1-5
TEL 092-641-2578 FAX 092-641-5778

太陽セランド株式会社
〒826-0042 福岡県田川市大字川宮 1200
TEL 0947-44-1847 FAX 0947-44-5805

代表取締役 社長 **中島 健介**

医療関連
サービスマーク認定
太陽セランドグループ会社
〓 太陽セランドホールディングス株式会社 〓 太陽セランド株式会社 〓 太陽シルバーサービス株式会社 〓 ジャパンエアマット株式会社 〓 株式会社北九州シーアイシー研究所

お問い合わせ TEL0947-44-1847 Mail info@taiyoseland.co.jp Web <http://www.taiyoseland.co.jp>

2. ケアラウンドの実際

病棟へ訪問し、まず部署のスタッフや管理者と、患者の症状や訴え・全身状態等についてアセスメントを行います。性格や家族関係等の情報収集を行い、これまでの生活背景なども想像しながら、患者のベッドサイドに伺います。可能であれば患者と会話をしながら、訴えを傾聴し身体状況・理解力や行動、ベッド周囲の環境等について観察を行います。ラウンド者（特に老人看護専門看護師）は、患者への声掛けを通じ、個々人に合わせることやコミュニケーションによる信頼関係の構築方法について部署のスタッフへアドバイスをします。看護者の困りごとではなく、高齢者が困っていることに気づき、部署内のカンファレンスで高齢者のニーズに注目し、スタッフ間で共有することに繋がっています。

3. ケアラウンドの効果

身体拘束率の推移です。



※一般病棟のみ、クリップセンサー・4点柵は除く

他部署のラウンドを経験した副主任看護師をはじめ看護管理者からは、「身体抑制の必要性を十分に検討する必要がある」「療養環境の調整が重要である」「症状アセスメントをしていると思ったが、十分ではなかった」「患者背景の理解が重要である」などの声が聞かれ、自部署での実践に活かそうとする反応が得られて

います。具体的な実践事例を紹介します。『表情が乏しく、日中傾眠が多い患者の生活リズムを整えるため、習慣や嗜好品について尋ねてみた。コーヒーを毎日飲むことが楽しみであったという情報があり、日当たりのよいデイルームで、缶コーヒーを飲む時間をつくることを計画し実践した。そこで、農業に従事していて「作物が心配だから、早く家に帰りたい」などと自分の思いを笑顔で語られるようになった。』

『術後に、夜間せん妄を発症し体幹抑制と上下肢の抑制が開始されている方がいた。日中落ち着きがみられた時間に疼痛の状況を詳しく患者に確認したところ「夜になると、痛みが強くなる」と話された。そこで、就寝前に疼痛時指示薬を予防投与したところ、せん妄症状は認められず抑制も解除できた。』などの報告が増えました。

おわりに

以前より、認知症ケアラウンドやリエゾン回診が実施されていましたが、夜間せん妄患者の対応に苦慮している病棟が多くありました。このラウンド開始後は対応困難症例の報告は減少し、夜勤者や夜間管理者の負担軽減にもつながっています。高齢者の症状やニーズは多様であり、今後も看護管理者がロールモデルとなり、各部署で実践しその経験を院内でも共有することで、更なる実践知の積み重ねにつながると考えます。

この度の診療報酬改定では、入院基本料の施設基準に「身体拘束の最小化の基準」が適用されることになりました。専任の医師と専任の看護師による「身体拘束最小化チーム」の設置が義務付けられることとなります。当院では、この「高齢者見守りたい(隊)！」の活動を多職種で実践し、高齢者の医療・ケアを検討するチームに拡大し、院内全体に周知し、身体拘束を更に低減する取り組みを継続していきたいと考えています。

医学・医療の歴史物語 ～その6 新千円札の顔、^{きたざと}北里柴三郎

国立病院機構九州医療センター 名誉院長 朔 元 則
学校法人原学園看護専門学校 顧問

千円札の肖像写真

日本の紙幣のデザインは偽造防止のためにおよそ20年毎に更新されているが、本Letter上梓予定の本年7月には新しい紙幣が発行される。千円札の肖像写真には、日本武尊（1945年発行）、聖徳太子（1950年発行）、伊藤博文（1963年発行）、夏目漱石（1984年発行）と皇族、政治家、文学者の肖像が採用されてきたが、2004年（平成16年）からは野口英世、そして今年発行の新千円札は北里柴三郎と2代に亘って日本の医学史に名前を残す医学者の肖像写真が採用された。紙幣による決済が急速に電子マネーに置き換えられつつある世界の現況を考えると、日本でも新紙幣が発行されるのは今回が最後になるかも知れない。

大変良い機会なので、今月のLetterは新千円札の顔、北里柴三郎について語ってみたい。彼の医学的業績については、読者の皆様はすでによく御存知のことと思うので、彼を巡る人達との関係を中心とした物語である。

その生い立ちと業績

北里柴三郎は肥後国細川藩北里村（現在は熊本県阿蘇郡小国町北里）の裕福な庄屋の長男として1853年1月29日（嘉永5年12月20日）に出生した。1853年と言えば、ナイチンゲールが活躍したクリミア戦争が勃発（8月）し、ペリーが艦隊を率いて浦賀沖へ来航（7月8日）した年でもあるので、世界史、日本史上大変重要な年でもある。

柴三郎の父^{これのぶ}惟信は北里村で代々庄屋を務める名家の五代目の当主、母^{てい くるしま}貞は久留島藩の藩士加藤海助の娘で、10歳までは江戸で育った（父親が江戸藩邸勤務）という経歴の持ち主であっ

た。当時は庄屋と言えども武士の家から嫁を貰うというのは大変稀なことであったと考えられるので、北里家（庄屋は農民階級であるから、北里という姓は明治以降に付けられたものと考ええる）は格式の高い家柄であったのであろう。

母親の貞は男勝りの物怖じしない強い性格の女性で、長男の柴三郎の将来に大いなる期待をかけ、5歳児の頃から寺子屋で教育を受けさせるような大変な教育ママであった。10歳になった時、柴三郎は母親の実家に預けられて儒者の園田保の門に入門しているが、母親の貞は「出世するまでは故郷の北里村へは帰るな…」と叱咤激励したと伝えられている。

1869年（明治2年）に柴三郎は藩校時習館に入学したが、時習館は維新の改革ですぐに廃校になってしまった。一旦、北里村に戻った柴三郎は2年後の1871年（明治4年）2月、熊本城下に新設された古城医学校（前身は伝統ある細川藩の医学校再春館）へ入学した。柴三郎18歳の春のことであった。

柴三郎の入学とほぼ時を同じくして、古城医学校へ長崎医学校からオランダ人軍医マンスフェルト（Constant George van Mansveldt, 1832～1912）が教師として赴任して来た。柴三郎の最初の恩師である。マンスフェルトの教育方針は厳格であった。夜になると柴三郎を自分の寄宿舎に呼んでオランダ語の特訓を行ったということである。そのような或る日、マンスフェルトは寄宿舎に来た柴三郎に顕微鏡を覗かせた。生まれて初めて見る顕微鏡の視野の中で蠢く細菌を見て、それが病気を引き起こす原因となることを教えられて、柴三郎は細菌学研究への興味を掻き立てられていったのである。

マンスフェルトは任期を終えて熊本を去る時（1874年6月）、21歳になっていた柴三郎を呼ん

で「君がここで学んだことは医学の入門に過ぎない。東京の大学でさらに勉強して、欧州へ留学しなさい…」と言い聞かせたそうである。

マンスフェルトの薫陶によって医学への道に眼を開かされた柴三郎は1874年（明治7年）11月に東京医学校（後の東京帝国大学医学部）に入学し、医学者としての道を突き進むことになるのである。

1883年（明治16年）に東京医学校を卒業（6回生）し内務省衛生局に奉職。1885年11月よりベルリン大学へ留学し、世界的名声を得ていた細菌学の泰斗コッホ（Robert Koch, 1843～1910）に師事。1889年に世界初となる破傷風菌の嫌氣的純粋培養に成功、1890年には破傷風菌抗毒素を発見した。さらに菌体を少しずつ注射して抗体を産生させる血清療法を開発し、同僚のベーリング（Emil Adolf Behring, 1854～1917）と連名で発表した。

東京帝大卒の巨匠達との確執

明治時代の日本の医学界における最もホットな論争は、「脚気の成因に関する論争」であったことは有名である。この問題については、これまで本 Letter においても何度か取り上げてきたのでその詳細を述べることは割愛するが、私は北里柴三郎はこの論争の主役ではないが、被害者の一人であると考えている。

北里はドイツ留学中に、緒方正規東京帝国大学細菌学教授が発表した「脚気細菌説」について、「細菌学の正当な手続きを踏んでいない論説である」と否定的な見解を発表したのである。緒方は北里と同郷の熊本県出身で、年齢は北里の1歳年下なのであるが、上京したのが北里より早かったため東京帝大では3年先輩に当る人物であった。北里が東京帝大卒業後内務省に入省した時、細菌学のイロハを手ほどきしたのはドイツ留学から帰国したばかりの緒方であった。北里にとって緒方は同郷の先輩であり、大事な友人でもあったのである。

しかし「大事な友人であっても、研究内容に科学的な不備があれば、それを容赦なく論破する」という一徹振りも北里の大きな特徴であった。緒方の「脚気細菌説」に対する北里の反論

に、大憤慨したのが東京帝大卒の石黒忠恵いしぐろただのり陸軍軍医総監や青山胤通たねみち内科学教授、緒方正規細菌学教授、森林太郎（鷗外）ら当時の日本医学会の巨匠達であった。中でもその急先鋒は森鷗外で、明治22年6月発刊の東京医事新誌の巻頭に森林太郎という名前で次のような論文を寄稿している。

「伯林ニ客人タル友人北里柴三郎君ハ、先輩タル緒方博士ニ対シテ憚ルサマモナク、オノガ意見ヲ述ベシヲ恩少ナシトモ云ヒ…」。

明治の文豪として称賛されている森鷗外（森林太郎）が脚気細菌説に固執して、日露戦争に際して（鷗外はこの時陸軍軍医総監であった）多くの将兵を脚気で死に追いやった話は有名である。その詳細にご興味のある方は、岡村健九州がんセンター名誉院長著の「脚気論争の光と影 梓書院2020年刊」を是非読んでいただきたい。

この騒動は北里柴三郎の将来に大きな影響を及ぼした。1886年から1892年までの6年間に及ぶコッホのもとでの研究生活を終え、赫々たる業績を引っ提げて帰国した北里に対して、白い巨塔東京帝大の反応は極めて冷ややかであった。しかるべき研究の場を提供しようとはしなかったのである。

恩人 福澤諭吉

コッホのもとで多大な業績を挙げ欧米の大学や研究所の招聘を断ってまで帰国したものの、母校東京帝国大学の冷淡な反応によって窮地に追い込まれていた北里を助けたのが福澤諭吉（1835～1901）であった。北里が留学前に内務省衛生局に勤務していた時代の上司であった長与専斎（1838～1902、初代衛生局長）が北里の窮状を見かねて福澤に相談したのが、福澤が北里を助けるようになった切っ掛けであったと言われている。福澤と長与は大阪の緒方洪庵の適塾で共に学んだ親友であったのである。

長与から相談を受けた福澤はいずれ子供達のためにと用意していた土地に伝染病研究所を設立、北里を初代の所長に迎えた。福澤は北里の単なる支援者というよりも、現代の医療法人組織で言えば理事長とでも言うべきような役割を

果たしていたようである。残されていた文書によると、「君（北里）は学者であり、自分で何もかもすることは不可能だから、事務会計は適任者に頼みなさい…」と北海道炭鉱鉄道会社に勤務していた塾員^{たばたしげあき}田端重晟を呼び戻して伝染病研究所の事務主任に据える人事なども福澤が行っていたようである。

福澤が北里を知ったのは満 57 歳になった晩年の頃であるが、知り合ってから親密さは極めて強く、まるで父親のように接していた。

1894 年（明治 27 年）中国大陸で流行していたペストの調査のため北里が香港へ派遣されていた時、同じく政府から派遣されていた青山胤通東京帝大教授がペストに罹患し重篤な状態に陥ったことがあった。このニュースを聞いて福澤は旅行先から直ちに引き返し、「そういう危険な所に北里を一日たりとも置くことはならぬ」と自ら内務省などの関係先を走り回って北里の召還を策したということである。その時の福澤の顔色はまるで愛児の危険を気遣う親のようであったと後に周囲の者達が述べている。

福澤諭吉は 1901 年（明治 34 年）2 月 3 日に脳出血のため逝去したが、この時北里は「細菌学雑誌」に福澤先生を弔う辞を掲載している。

「嗚呼、我が科学の扶植者たる及び余が事業の保護者たる先生は今や即ち亡し。余は衷心、実に師父を喪いたるの感あり。然れども先生の偉業は依然として我が眼前に存し、先生の遺訓は歴然として余が脳裡にあり。余不敏といえどもまたその偉業を守りその遺訓を体し切磋研鑽以て万一の報恩を期せんとす。嗚呼悲哉」。

1917 年（大正 7 年）慶應義塾大学に医学科が創設され、その初代科長に 64 歳になっていた北里が就任しているが、その時の挨拶は

「私は慶應義塾出身のものではありません。しかしながら福澤先生の御恩を受けましたことに於いては、慶應義塾出身の多くの方よりも、より多くを受けた一人でございます。実質的の御恩は素よりのこと、精神的教訓をも受けているのでございます」。

というようなものであった。北里にとって福澤諭吉は終生忘れ得ぬ恩人だったのである。

野口英世との邂逅

北里柴三郎の伝染病研究所には東京帝大卒の錚々たる研究者達が集まっていたが、中には異色の人材もいた。その代表とも言える人物が北里の前に千円札の顔として採用されていた野口英世である。

野口は福島県耶麻郡三ツ和村（現在の猪苗代町）の貧しい農民の子として 1876 年（明治 9 年）11 月 9 日に出生した。1 歳の時に囲炉裏に落ちて左手に大火傷を負い、「左手が不自由だから学問で身を立てるように」と母シカに諭されて偉大な医学者となった立志伝の中の人物としてあまりにも有名な存在である。

高等小学校卒業後医院の住み込み書生として働きながら独学で医学の基礎を学び、1896 年（明治 29 年）に上京した。学僕として働きながら医術開業予備校の済生学舎（日本医科大学の前身）で学び、1897 年（明治 30 年）10 月、21 歳で医師免許を取得し、翌年北里柴三郎が所長を務める伝染病研究所に入所した。

医師免許を取得していたとはいえ東北の貧農の生まれで高小卒の野口にとっては、東京帝大卒の俊秀が居並ぶ伝染病研究所は敷居が高かった筈である。その野口を助手補の資格で採用したのは北里の「懐の深さ」であろう。野口が北里のもとにいたのは約半年という短い期間であったが、幸運なことに野口の在勤中にジョンズ・ホプキンス大学の病理学教授フレクスナー（Simon Flexner, 1863～1946）が伝染病研究所を訪れたのである。接待係を命じられた野口は絶好のチャンスとばかりにフレクスナーに強引に頼み込んで渡米を実現させたのである。

1900 年 12 月、野口は北里の紹介状を頼りに渡米、ペンシルベニア大学医学部の助手となる。1903 年コペンハーゲンの血清研究所に留学、1904 年帰米してロックフェラー医学研究所に移籍した。1911 年（明治 44 年）梅毒スピロヘータの純粋培養の成功を発表、世界に名を知られるようになり（この研究は現在是否定されている）、1913 年には梅毒スピロヘータを進行麻痺・脊髓癱の患者の脳病理組織において確認している。

米国において赫々たる業績を挙げ、1915 年

(大正4年)9月、15年振りに帰国した野口の歓迎会で、北里は

「野口君が今日ある所以のものは日本の如き
盟友排擠し(蹴落とす)動もすれば壓迫と
猜疑を以て學者を迫害して止まざらんとす
るに反し、米國の如き世界の大研究所に於
いて為されたる結果今日あるを信ず」。

と挨拶したそうである。伝染病研究所が行政改革を名目に文部省に移管された直後のことで、そこには東京帝大に押し切られた北里の無念さが込められているようにも思われる。北里も野口もノーベル賞に手が届くところまで行った。しかし東京帝大卒のエリートで固められた古色蒼然とした権威に満ち満ちていた日本医学界はなかなか二人を評価せず、ノーベル賞委員会に推薦しようとはしなかったのである。

1918年(大正7年)頃から野口は黄熱病の研究に従事、南米やアフリカに出張して黄熱病の解明に没頭した。しかし残念なことに1928年(昭和3年)アフリカの英領ゴールド・コースト(現ガーナ)で研究中に黄熱病に罹患、1928年(昭和3年)5月21日51歳の生涯を閉じた。

多士済々の弟子たちの系譜

北里柴三郎の一番弟子と言え、北里の後を襲って北里研究所所長、慶應義塾大学医学部長、第2代日本医師会会長を務めた北島多一(1870～1956)であろう。東京帝大の秀才であった北島は、北里の下に行くにあたり青山胤通教授から「もうこれで東京帝大との縁が切れるがそれでも良いのか…」と脅されたそうである。そこまで言われて北里研究所へ入っていることから、以後北里と運命を共にする覚悟は出来ていたと考えられる。北島はハブ毒の血清療法を考案している。そのほか梅毒に対するサルバルサン療法を編み出した秦佐八郎(1873～1938)、赤痢菌の発見者志賀潔(1871～1957)、北里の講義を「実習細菌学総論」にまとめ、研究ではツツガムシ病の解明に貢献した浅川範彦(1865～1907)らの錚々たる学者達が弟子として名を連ねている。

北里は仕事を一度任せると全幅の信頼をおいて弟子に自由に仕事をさせるという面があり、

豪放磊落な性格で弟子たちに大変慕われていたことでも有名である。そのことを如実に示しているのが、伝染病研究所の移管問題の時のエピソードであろう。1914年(大正3年)日本政府は北里の意に反して伝染病研究所を内務省から文部省へと管轄替えしてしまった。怒った北里は伝染病研究所所長を辞し、私立北里研究所を開設したのであるが、この時伝研に勤務していた弟子達が全員揃って北里に付き従った。文部省も東京帝大も全く予想だにしていなかった事件であった。

任人勿疑、疑勿任人

「人を任ずるに疑うなかれ、疑って人を任ずるなかれ」。北里が好んで揮毫した言葉だそうである。人は信頼されて任された時、初めてその任せた人のために粉骨砕身働くものである」というのが北里の信条であったと言えよう。

北里柴三郎が自分の師を尊敬し、生涯にわたって何くれと世話をしたこともよく知られている。本稿では紙幅に限りがあるので、その詳細には全く触れなかったが、コッホが1908年(明治41年)に来日した際の北里の歓迎ぶりは想像を絶する凄まじさだったということである。コッホの74日間の日本滞在中、一日も傍らを離れず歓待の限りを尽くしている。

コッホの死後も第一次世界大戦後の凄まじいインフレーションで苦勞していたコッホ夫人にドイツまで生活費を送っていたということである。「絶対の信頼と恩顧」これが北里柴三郎という人物を表現するに適切な言葉であろうと私は考えている。

北里柴三郎について詳しくお知りになりたいければ、北里の生誕地、熊本県阿蘇郡小国町の北里柴三郎記念館を訪れるのが一番である。福岡からは日帰りのドライブ旅行としても最適である。私は2013年(平成25年)9月に訪れたことがある。本稿もその時に購入した「日本細菌学の父 北里柴三郎」という都市出版株式会社刊の130頁にも及ぶ雑誌に掲載されていた内容を私なりに要約させていただいたものである。

人体旅行記 乳房（その二十二）

国立病院機構都城医療センター 院長 吉住 秀之

幕末になると西洋から牛乳を飲む文化も伝わり、母乳の代用品として使用されるようになっていきます。幕末の1867年に西洋医学を学んだ幕府の医師石川桜所、伊東貫齋、松本良順¹⁾は、牛羊牧養推進の建白書を提出し、病人の療養における牛乳の有効性を力説するとともに、江戸近辺に牧場を設けその運営を西洋医学所（東大学の前身）に任せるよう具申しています。

明治になると文明開化のカリスマ唱道者福沢諭吉も牛肉とともに牛乳の効用を熱心に唱えます。『肉食之説』では、「抑、牛乳の効能は牛肉よりも尚更に大なり。熱病労症等、其外^{すべ}て身体虚弱なる者には欠くべからざるの妙品、仮令何等の良薬あるも牛乳を以て根気を養わざれば良薬も功をなさず。実に万病の一薬と称するも可なり」と述べ、「子を育てるに牛の乳を用れば乳母を雇うに及ばず」としています²⁾。その翌年には『新聞雑誌』に日本初の哺乳瓶「乳母いらす」が図解入りで掲載広告されました。

こうした牛乳の攻勢に対して、明治初期には翻訳による育児書も発刊され、母乳による哺育の重要性も説かれます。その一つ『^{こそだて}育児の種』（明治16年）には、乳母の選抜法として、その両親に「勞瘵質や癩癰質、非常の神経質及び梅毒癰病、癌腫等」があるのは不適で、顕微鏡や試験紙などによって乳汁検査を行い、「乳房は^{ほどよくかたく}恰好堅実し肥満、腺核沢山にして乳頭正しく突出し指を以て乳房を圧搾る時は白色甘味の乳汁を充分に排泄」する者がよいと書かれています。ちなみに本書は、東大医学部教授のベルツの講義を基本にして編集されたものです。1888（明治21）年には、ドイツ留学から帰国した弘

田^{つかさ}長（1859～1928）³⁾が東京帝国大学東京医科大学で小児科の臨床講義を始め、翌年には小児学教室の初代教授となります。これ以降育児においても西洋医学の知見が流布していきます。

- 1) 松本良順は、吉村昭の小説『暁の旅人』に主人公として描かれているほか、司馬遼太郎の小説『胡蝶の夢』にも登場するので、ご存じの方も多いと思います。最初漢方医学を修め25歳のときに長崎に赴き西洋医学をボンペから学び、「医師は自らの天職をよく承知していなければならない。ひとたびこの職務を選んだ以上、もはや医師は自分自身のものではなく、病める人のものである。もしそれを好まぬなら、他の職業を選ぶがよい」という言葉を残しています。天職と肝に銘じる覚悟がなければさっさと転職しろということですね。2024年から働き方改革が始まりましたが、この改革がボンペの言葉を胸に刻んだ医師たちにより日本の医療の密度を上げる成果を上げてほしいものです。間違っても時間が来たから退勤するという粗診医師を量産しないことを切に願うばかりです。
- 2) さらに「不治の病を治し不老の寿を保ち、身体健康精心活発、始て日本人の名を辱めざるを得べし」とまで言い切り、最後には牛乳製造の種類を列記して、これらの製品は我が社で生産しているから、効き目は実際使ってみてねと締めているあたり、さすが旧紙幣の肖像になっただけの資質があります。
- 3) 幼少期の昭和天皇の侍医を務めた医師です。同じ大学の薬学科の丹波敬三と協力して国産初のベビーパウダーであるシッカロールを考案しました。ちなみに『007は二度死ぬ』（1967年）にも出演した俳優の丹波哲郎は敬三の孫です。

◎ 令和6年度 第2回理事会

日 時 5月14日（火）午後4時〈会議室〉

議 題

1. 会長あいさつ
2. 協議事項
 - (1) 会員異動について
 - (2) 研修会について
 - (3) 地域医療構想について
 - (4) 令和5年度決算について
 - (5) 第11回（令和6年度）定時総会について
 - (6) その他
3. 報告事項
 - (1) 私設病院協会 (2) 看護学校 (3) 医療関連協業組合 (4) 全日病・日慢協・日医法人協、他連絡

◎ 事務長会運営委員会

日 時 5月16日（木）午後3時〈会議室〉

1. 協議事項
 - (1) 医師のマネジメントについて
 - (2) ハラスメントについて
 - (3) メンタルヘルス対策について
 - (4) 障害者雇用について
 - (5) 人事交流について
 - (6) 昇格の基準について
 - (7) 9月研修会企画案について
 - (8) 役員改選に伴う委員及び議長、書記の交代について
2. 報告事項

◎ 令和6年度第11回定時総会

日 時 5月31日（金）午後3時

場 所 ホテルオークラ福岡

○ 議 事

- | | |
|-------|-------------------|
| 報告事項1 | 令和5年度事業報告 |
| 第1号議案 | 令和5年度計算書類承認の件 |
| 報告事項2 | 令和5年度公益目的支出計画実施報告 |
| 報告事項3 | 令和6年度事業計画について |
| 報告事項4 | 令和6年度予算について |
| 第2号議案 | 理 事 18名の選任の件 |
| 第3号議案 | 監 事 2名の選任の件 |
| 第4号議案 | 会長候補 1名の選出の件 |
| 第5号議案 | 副会長候補 3名の選出の件 |

◎ 令和6年度臨時理事会

日 時 5月31日（金）午後3時45分

場 所 ホテルオークラ福岡

1. 議長の選出
2. 協議事項
 - 会長・副会長・専務理事・会計理事の選定
 - その他：顧問・参与について

◎ 5月総会研修会〈参加数 52名〉

日 時 5月31日（金）午後5時～午後5時50分

場 所 ホテルオークラ福岡

演 題 「福岡県の地域医療構想のこれまでと将来の取り組み」

講 師 福岡県医師会常任理事
福岡県地域医療構想アドバイザー
福岡県私設病院協会理事 戸次鎮史 氏

◎ 看護部長会運営委員会

日 時 6月7日（金）午後3時〈会議室〉

1. 協議事項
 - (1) 11月研修会企画案について
 - (2) 効果的な災害訓練（火災・地震・水害等）の具体的方法・内容と災害対策BCPの策定状況と活用について
 - (3) 深刻な人材不足（担い手不足）の中での人材確保（離職防止）・定着及び活用の取り組みについて
 - (4) 採用面接時の重要ポイントについて
 - (5) 看護助手にとっての魅力ある職場作りと業務改善について
2. 報告事項

◎ 令和6年度第3回理事会

日 時 6月11日（火）午後3時30分〈会議室〉

議 題

1. 会長あいさつ
2. 協議事項
 - (1) 新役員体制による担当（案）について
 - (2) 行政・関係団体等の委員就任等（案）について
 - (3) 「事務長会運営委員会」「看護部長会運営委員会」委員改選について
 - (4) 会員異動について
 - (5) 研修会について
 - (6) 地域医療構想について
 - (7) 役員退職慰労金について
 - (8) 職員の賞与について
3. 会議報告
4. 報告事項
 - (1) 私設病院協会 (2) 看護学校 (3) 医療関連協業組合 (4) 全日病・日慢協・日医法人協、他連絡

◎ 広報委員会

日 時 6月11日（火）午後4時45分〈事務室〉

議 題 1. 福私病ニュースの編集について

◎ 6月研修会〈参加数 76名〉

日 時 6月14日（金）午後3時～午後5時

場 所 電気ビル共創館3階カンファレンスB

演 題 『2024年同時改定における医療介護連携のポイント ～医療と介護の連携を評価した内容を中心に～』

講 師 (株)リンクアップラボ
代表取締役 酒井麻由美 氏

第91回 理事会報告

日 時 令和6年5月28日 (火) 16:00～16:35
場 所 福岡県中小企業振興センター 501号室
(福岡市博多区吉塚本町9-15)
出席者 (敬称略)
会 長 中村
副会長 一宮
理 事 平専務理事、伊東財務理事、壁村企画理
事、岩崎、小嶋、谷口、富松、中房、平
城、山下、横倉、渡邊
計14名 (理事総数24名)
監 事 野村、原
議 長 岡嶋
副議長 樋口
顧 問 今泉、河野

I 行政等からの通知文書

平専務理事から、特に報告等を要するものは
ないとの報告があった。

II 公益目的事業関係

1 報告事項

(1) 各種委員会・研修会関係

【開催結果】

ア 第1回看護委員会

中房担当理事から、報告があった。

日 時 令和6年4月19日 (金) 15:00～

場 所 ナースプラザ福岡 207会議室

議 題 1. 委員の交代について
2. 令和6年度研修計画について

【開催予定】

ア 第170回看護研修会

中房担当理事から、説明があった。

日時等 令和6年7月2日 (火) 13:25～15:45

セミナー配信

令和6年7月3日 (水)～8日 (月) オンデ
マンド配信

講 演 「看護管理者が知っておきたい『様
式9』」

講 師 国際医療福祉大学大学院
教授・副大学院長 福井 トシ子

III 収益目的事業、法人関係

1 報告事項

(1) 各種委員会・研修会関係

【開催結果】

ア ほすびたる編集委員会

岡嶋編集委員長から、報告があった。

日 時 令和6年5月14日 (木) 17:45

場 所 福岡県医師会館 2F 事務局 (WEB
とのハイブリット開催)

議 題 1. 5月号の現況について
2. 7月号、9月号の編集計画について
3. 令和6年度暑中見舞広告について

(2) 第90回理事会議事録 (案) について

平専務理事から、中村会長、野村、原両監事
に内容等に問題がないことを確認してもらっ
ていると説明があり、承認された。

(3) 令和5年度臨時会員総会議事録について

平専務理事から、議事録署名人である岡嶋議
長、松浦、山下両理事に内容等に問題がない
ことを確認してもらっていると説明があり、
承認された。

(4) 3月、4月収支報告について

伊東財務理事から、報告があった。

(5) 退会届について

平専務理事から、報告があった。

会員名・病院名	病院所在地	退会年月日	退会理由
えさき よしと 江崎 嘉十 医療法人永聖会 松 田耳鼻咽喉科病院	福岡市東区	R6年3月31日	有床診療所 に組織変更

(6) 会員の変更について

平専務理事から、報告があった。

・特定医療法人茜会北九市立門司病院 (北九
州市門司区)

高木 陽一 前院長 → 廣瀬 ^{のぶゆき} 宜之 病長

・医療法人柳育会 柳病院 (八女市)

才津 秀樹 前院長 → 中野 昌彦 病長

(7) 第51回新採用薬剤師教育研修会への講師派遣について

平専務理事から、五役会で検討した結果、岩崎理事を推薦することとし、岩崎理事の承諾を得て推薦したとの報告があった。

(8) 第15回県民公開医療シンポジウム開催計画概要について

横倉運営委員長から、開催計画概要について説明があった。

- ・日時：令和6年8月24日(土) 14:00～16:00
- ・会場：久留米シティプラザ Cボックス
- ・テーマ：～運動しよう！ 運動から始まる健康～

2 協議事項

(1) 定時会員総会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項について

平専務理事から説明があり、承認された。

(2) 定時会員総会議案について

- ・第1号議案：令和5年度事業報告（案）について
平専務理事から、説明があり、承認された。
- ・第2号議案：令和5年度収支決算（案）について、監査結果について
伊東財務理事から収支決算について説明後、野村監事から監査報告が行われた。
承認された。
- ・第4号議案：異動に伴う参与の委嘱について
平専務理事から、説明があり、承認された。

(3) 令和6年度理事等の選挙日程について

平専務理事から、選挙日程等について説明があり、承認された。

(4) 理事等の選挙に係る選挙管理委員長等の選任について

平専務理事から、選挙が実施される場合に備え、選挙管理委員長に上野顧問、選挙管理委員に今泉顧問及び河野顧問を任命することが提案され、承認された。

3 行事予定

平専務理事から、説明があった。

(1) 令和6年6月

ア 五役会

日時 令和6年6月11日(火) 18:00～
場所 福岡県医師会館事務局

イ 理事会・定時会員総会

日時 令和6年6月25日(火)
① 16:30～理事会
② 17:00～定時会員総会
③ 17:30～臨時理事会（代表理事、業務執行理事等選任）
※臨時理事会終了後に、懇親会
場所 ANAクラウンプラザホテル 2F
シャンパーニュ（福岡市博多区博多駅前3丁目3番3号）

(2) 令和6年7月

ア 第170回看護研修会

日時 令和6年7月2日(火) 13:25～15:45
場所 WEB開催（オンデマンド配信）

イ 第1回リハビリテーション委員会

日時 令和6年7月2日(火) 16:30～
場所 アーバンオフィス 第1会議室

ウ ほすぴたる編集委員会・五役会

日時 令和6年7月9日(火)
① 17:45～ほすぴたる編集委員会
② 18:00～五役会
場所 福岡県医師会館事務局（ほすぴたる編集委員会はハイブリット）

4 最近の医療情勢

一宮副会長から、5月31日に開催される県医療対策協議会について、研修医の数や働き方改革の実施状況等予定議題の説明がなされた。また、働き方改革に関連して、医師会の相談窓口に、これまで相談があつていないことなどの報告があった。

第92回 理事会報告

日 時 令和6年6月25日 (火) 16:30～16:55
場 所 ANAクラウンプラザホテル福岡
(福岡市博多区博多駅前3丁目3番3号)

出席者 (敬称略)

会 長 中村

副会長 一宮、野村

理 事 平専務理事、岩永総務理事、伊東財務理事、
壁村企画理事、江頭、於保、島、谷口、津留、中房、平城、増本、松浦、山下、横倉、渡邊

計19名 (理事総数24名)

監 事 野村、原

議 長 岡嶋

副議長 樋口

顧 問 今泉、河野、上野

I 行政等からの通知文書

平専務理事から、特に報告等を要するものはないとの報告があった。

II 公益目的事業関係

1 報告事項

(1) 各種委員会・研修会関係

【開催結果】

ア 第1回栄養管理委員会

中房担当理事から、報告があった。

日 時 令和6年6月7日 (火) 15:00～

場 所 アーバンオフィス 第1会議室

議 題 1. 委員の交代について
2. 第71回栄養管理研修会の反省
3. 令和6年度研修計画について

【開催予定】

ア 第170回看護研修会

於保担当理事から、説明があった。

日時等 令和6年7月2日 (火) 13:25～15:45

セミナー配信

令和6年7月3日 (水)～8日 (月) オンデマンド配信

講 演 「看護管理者が知っておきたい『様式9』」

講 師 国際医療福祉大学大学院

教授・副大学院長 福井 トシ子

イ 第1回リハビリテーション委員会

岩永担当理事から、説明があった。

日 時 令和6年7月2日 (火) 16:30～

場 所 アーバンオフィス 第1会議室

議 題 1. 委員の交代について
2. 令和6年度研修計画
第1回リハビリテーション研修会の開催について

III 収益目的事業、法人関係

1 報告事項

(1) 各種委員会・研修会関係

【開催結果】

ア ほすびたる編集委員会

岡嶋編集委員長から、報告があった。

日 時 令和6年7月3日 (火) 17:45

場 所 福岡県医師会館 2F 事務局 (WEBとのハイブリット開催)

議 題 1. 9月号の現況について
2. 11月号編集計画について (第15回県民公開医療シンポジウム特集号)

(2) 第91回理事会議事録 (案) について

平専務理事から、中村会長、野村、原両監事に内容等に問題がないことを確認してもらっていると説明があり、承認された。

(3) 5月収支報告について

伊東財務理事から、報告があった。

(4) 会長及び業務執行理事の活動状況について

平専務理事から、報告があった。

(5) 会員の変更について

平専務理事から、報告があった。

・ (一社) 福岡県社会保険医療協会社会保険
大牟田天領病院 (大牟田市)

こうろぎひろつぐ 興梧博次 前病院長 → むこうやまさし 向山政志 病院長

- ・医療法人久美愛福岡耳納高原病院（八女市）
佐藤 了 前院長 → ためひろかずひと 院長
- ・社会医療法人 製鉄記念八幡病院（北九州市八幡東区）
こ が とくし 古賀徳之 前病院長 → やなぎだたいへい 柳田太平 病院長
- ・医療法人相生会福岡みらい病院（福岡市東区）
いしつかた かお 石束隆男 前院長 → ますだむねたか 益田宗孝 院長

(6) 福岡県医師会病院委員会委員の推薦について
平専務理事から、五役会で検討した結果、中村会長、中房理事を引き続き推薦することとし、両理事の承諾を得て推薦したとの報告があった。

(7) 福岡県医師臨床研修制度協議会委員の推薦について
平専務理事から、五役会で検討した結果、谷口理事を引き続き推薦することとし、谷口理事の承諾を得て推薦したとの報告があった。

(8) 「NPO 地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク」第3回全国の集い in 福岡 2024 開催に際し後援名義使用のお願い
平専務理事から、五役会で検討を行い、名義後援を承認したとの報告があった。

(9) 第13回「全国医療経営士実践研究大会」福岡大会のご後援
平専務理事から、五役会で検討を行い、名義後援を承認したとの報告があった。

2 協議事項

(1) 定時会員総会の第3号議案（任期満了に伴う役員等の改選）について
平専務理事から、定時会員総会の第3号議案について、役員候補者数はいずれも定数内であること、退任予定の一宮副会長の顧問委嘱案を会員総会に諮ることの説明がなされ、異議なく了承された。

3 行事予定

平専務理事から、報告があった。

(1) 令和6年7月

ア 第170回看護研修会

日時等 令和6年7月2日(火) 12:35～15:45
セミナー配信

令和6年7月3日(水)～8日(月) オンデマンド配信

イ 第1回りハビリテーション委員会

日 時 令和6年7月2日(火) 16:30～
場 所 アーバンオフィス 第1会議室

ウ ほすぴたる編集委員会・五役会

日 時 令和6年7月9日(火)
① 17:45～ほすぴたる編集委員会
② 18:00～五役会
場 所 福岡県医師会館事務局（ほすぴたる編集委員会はハイブリット）

エ 第171回看護研修会

日 時 令和6年7月21日(水) 9:20～16:30
場 所 ナースプラザ福岡

(2) 令和6年8月

ア 第15回県民公開医療シンポジウム

日 時 令和6年8月24日(土) 14:00～16:00
場 所 久留米シティプラザ Cボックス

イ 五役会・納涼会

日 時 令和6年8月27日(火)
① 18:00～五役会
② 18:30～納涼会
場 所 割烹よし田（福岡市博多区店屋町）

ウ 第172回看護研修会

日 時 令和6年8月29日(木)～8月30日(金)
場 所 九州大学医学部百年講堂

(3) 令和6年9月

ア ほすぴたる編集委員会・五役会

日 時 令和6年9月10日(火)
① 17:45～ほすぴたる編集委員会
② 18:00～五役会

場 所 久留米シティプラザ Cボックス

イ 第93回理事会

日 時 令和6年9月24日(火) 16:00～
場 所 福岡県医師会館 6F 研修室3

暑中お見舞い 申し上げます

掲載は受付順にさせていただきました。



九州大学病院
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

病院長 **中村 雅史**

〒812-8582
福岡市東区馬出3丁目1番1号
電話 (092)641-1151 FAX (092)642-5008
URL <https://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>



福岡大学病院
Fukuoka University Hospital

病院長 **三浦 伸一郎**

〒814-0180
福岡市城南区七隈七丁目45番1号
電話 (092)801-1011 FAX (092)862-8200
URL <http://www.hop.fukuoka-u.ac.jp>



久留米大学病院
KURUME UNIVERSITY HOSPITAL

病院長 **野村 政壽**

〒830-0011
久留米市旭町67番地
電話 (0942)35-3311(代) FAX (0942)32-6278
URL <https://www.hosp.kurume-u.ac.jp>
E-mail kanrika@kurume-u.ac.jp



産業医科大学病院
Hospital of the University of Occupational and Environmental Health, Japan

病院長 **田中文啓**

〒807-8556
北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号
電話 (093)603-1611(代) FAX (093)691-8892
URL <https://www.uoeh-u.ac.jp>

医療法人 **原三信病院**
Harasanshin Hospital

理事長 **平 祐 二**
院 長 **原 直 彦**

〒 812-0033
福岡市博多区大博町 1 - 8
電 話 (092)291-3434 FAX (092)291-3424
URL <https://www.harasanshin.or.jp/>



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部
福岡県済生会二日市病院

院 長 **壁 村 哲 平**

〒 818-8516
福岡県筑紫野市湯町三丁目 13 番 1 号
電 話 (092)923-1551 FAX (092)924-5210
URL <https://www.saiseikai-futsukaichi.org>



宗像医師会病院
MUNAKATA MEDICAL ASSOCIATION HOSPITAL

院 長 **伊 東 裕 幸**

〒 811-3431
福岡県宗像市田熊五丁目 5 番 3 号
電 話 (0940)37-1188 FAX (0940)37-0016
URL <http://www.mmah.jp>



社会福祉法人
バプテスト心身障害児(者)を守る会
久山療育園重症児者医療療育センター

理事長 **宮 崎 信 義**
センター長 **岩 永 知 秋**

〒 811-2501
福岡県糟屋郡久山町大字久原 1869
電 話 (092)976-2281
FAX (092)976-2172

求人情報はこちらから→



国家公務員共済組合連合会
浜の町病院
HAMANOMACHI HOSPITAL

病院長 **谷 口 修 一**

〒 810-8539
福岡市中央区長浜 3 丁目 3 番 1 号
電 話 (092)721-0831 FAX (092)714-3262
URL <https://hamanomachi.kkr.or.jp>
E-mail info@hamanomachi.jp



社会医療法人財団 白十字会
白十字病院

病院長 **瀧 野 泰 秀**

〒 819-8511
福岡市西区石丸 4 丁目 3 - 1
電 話 (092)891-2511 FAX (092)881-4491
URL <http://www.fukuoka.hakujyujikai.or.jp>
E-mail hakujyuji@hakujyujikai.or.jp



地方独立行政法人 福岡市立病院機構
福岡市立こども病院
Fukuoka Children's Hospital

院長 **楠原 浩一**

〒 813-0017
福岡市東区香椎照葉 5 丁目 1 番 1 号
電話 (092)682-7000 FAX (092)682-7300
URL <https://childhp.fcho.jp>



社会医療法人財団 池友会
福岡和白病院

院長 **富永 隆治**

〒 811-0213
福岡市東区和白丘 2 - 2 - 75
電話 (092)608-0001 FAX (092)607-3051
URL <https://www.f-wajirohp.jp>

医療法人社団福光会

福田眼科病院

理事長 **福田 恭江**
病院長 **江島 哲至**

〒 814-0013
福岡市早良区藤崎 1 丁目 24 番 1 号
電話 (092)841-2345 FAX (092)841-2649
E-mail fukudaganka@nifty.com



社会医療法人財団 池友会
香椎丘リハビリテーション病院
KASHIIGAOKA REHABILITATION HOSPITAL

院長 **松尾 義孝**

〒 813-0002
福岡市東区下原 2 丁目 24 番 36 号
電話 (092)662-3200(代) FAX (092)662-3303
URL www.kashii-rh.net
E-mail info@kashii-rh.net

医療法人 ユーアイ

西野病院

理事長 **西野 豊彦**

〒 820-0206
福岡県嘉麻市鴨生 532 番地
電話 (0948)42-1114 FAX (0948)42-4790
E-mail nishino1114@miracle.ocn.ne.jp



国家公務員共済組合連合会
新小倉病院

病院長 **塚本 浩**

〒 803-8505
北九州市小倉北区金田 1 丁目 3 番 1 号
電話 (093)571-1031 FAX (093)591-0553
URL <https://shin-kokura.or.jp>
E-mail kk-shinkokura@shin-kokura.gr.jp



古賀病院グループ

理事長 古賀伸彦

〒 830-8577
福岡県久留米市天神町 120 番地
電話 (0942)38-2222
URL <https://www.tenjinkai.or.jp>

 福岡歯科大学医科歯科総合病院

理事長 水田祥代
病院長 坂上竜資

〒 814-0143
福岡市早良区田村 2 丁目 15 - 1
電話 (092)801-0411 FAX (092)801-0459
URL <https://www.fdcnet.ac.jp>
E-mail byouinsoumu@fdcnet.ac.jp



地域医療支援病院
糸島医師会病院
ITOSHIMA MEDICAL ASSOCIATION HOSPITAL

病院長 富田昌良

〒 819-1112
福岡県糸島市浦志 532 番地 1
電話 (092)322-3631 FAX (092)322-1206
URL <http://itomedhp.jp/>



地方独立行政法人 福岡市立病院機構
福岡市民病院

病院長 堀内孝彦

〒 812-0046
福岡市博多区吉塚本町 13 番 1 号
電話 (092)632-1111 FAX (092)632-0900
URL <https://www.fcho.jp/shiminhp/>



田川市立病院

田川市 鴻江俊治
病院事業管理者

病院長 松隈哲人

〒 825-8567
福岡県田川市大字楠 1700 番地 2
電話 (0947)44-2100 FAX (0947)45-0715
URL <http://hospital.city.tagawa.fukuoka.jp>
E-mail shiritsubyouin@lg.city.tagawa.fukuoka.jp



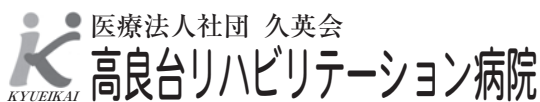
福岡ハートネット病院
FUKUOKA HEARTNET HOSPITAL

病院長 樋口雅則

〒 819-0002
福岡市西区姪の浜 2 丁目 2 - 50
電話 (092)881-0536
FAX (092)883-8761

当院のホームページ





理事長 中 尾 一 久
院 長 永 田 剛

〒 830-0054
久留米市藤光町 965 - 2
電 話 (0942)51-3838 FAX (0942)51-3535
URL <https://www.kyueikai.jp>
E-mail kouradai-web@kyueikai.jp



院 長 中 根 博

〒 811-3195
福岡県古賀市千鳥 1 丁目 1 番 1 号
電 話 (092)943-2331 FAX (092)943-8775
URL <https://fukuokae.hosp.go.jp>



理事長 津 留 英 智
院 長 田 山 慶一郎

〒 811-3298
福岡県福津市日蔭野 5 丁目 7 番地の 1
電 話 (0940)34-3111 FAX (0940)43-5981
URL <https://www.suikokai.or.jp>



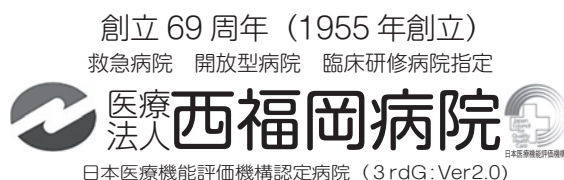
理事長 兒 嶋 良 太

〒 820-0045
福岡県飯塚市花瀬 87 番地 1
電 話 (0948)22-1498 FAX (0948)28-8131
URL <https://www.kojima-hospital.com>



理事長 江 頭 啓 介
院 長 江 頭 省 吾

〒 814-0143
福岡市城南区南片江 6 丁目 2 番 32 号
電 話 (092)864-1212 FAX (092)865-4570
URL <http://www.sakurahp.or.jp/>



理事長 安藤 文英
院 長 渡邊憲太郎

〒 819-8555 福岡市西区生の松原 3 丁目 18 番 8 号
TEL.092-881-1331 FAX.092-881-1333
URL <http://www.nishifukuhp.or.jp>
Mail jim@nishifukuhp.or.jp



公立学校共済組合

九州中央病院

Kyushu Central Hospital

病院長 前 原 喜 彦

〒 815-8588

福岡市南区塩原三丁目 23 番 1 号

電話 (092)541-4936 FAX (092)541-4540

URL <https://www.kyuchu.jp>



日本医療機能評価機構認定病院
救急病院 指定自立支援医療機関(更生医療)

医療法人 シーエムエス

杉循環器科内科病院

理事長 杉 健 三
院 長 大内田 昌 直

〒 837-0916

大牟田市大字田隈 950 - 1

電話 (0944)56-1119 FAX (0944)56-2077

URL <http://www.sugi-hosp.jp>



医療法人 誠心会

井上病院

理事長 井 上 健
院 長

〒 819-1104

福岡県糸島市波多江 699 番地 1

電話 (092)322-3437 FAX (092)322-5806

URL <https://www.sih.or.jp>



社会福祉法人 済生会支部

福岡県済生会福岡総合病院

院 長 松 浦 弘

〒 810-0001

福岡市中央区天神 1 丁目 3 番 46 号

電話 (092)771-8151 FAX (092)716-0185

URL <https://www.saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp>

E-mail byoin@saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp



福岡大学西新病院

Fukuoka University Nishijin Hospital

病院長 山 本 卓 明

〒 814-8522

福岡市早良区祖原 15 番 7 号

電話 (092)831-1211 FAX (092)831-3398

URL <https://www.nishijin.fukuoka-u.ac.jp>



医療法人 済世会

河 野 病 院

KAWANO HOSPITAL

理事長 河 野 正 美
院 長 今 泉 暢登志

〒 811-2413

福岡県糟屋郡篠栗町尾仲 139

電話 (092)947-0611 FAX (092)947-8598

URL <https://www.kawano-hp.com>

E-mail info@kawano-hp.com

ih 飯塚病院

innovate and evolve

院長 本村 健太

〒820-8505
飯塚市芳雄町3-83
電話 (0948)22-3800 FAX (0948)29-5744
URL <https://aih-net.com>



原土井病院
HARADOI HOSPITAL

理事長 原 寛
院長 野村 秀幸

〒813-8588
福岡市東区青葉六丁目40番8号
電話 (092)691-3881 FAX (092)691-1059
URL <https://www.haradoi-hospital.com>

地域医療支援病院 地域がん診療連携拠点病院



一般社団法人 福岡県社会保険医療協会
社会保険 田川病院

病院長 黒松 肇

〒826-8585
福岡県田川市上本町10番18号
電話 (0947)44-0460 FAX (0947)45-6540
URL <https://www.s-tagawa-hp.tagawa.fukuoka.jp>



公立八女総合病院
Yame General Hospital

院長 田中 法瑞

〒834-0034
福岡県八女市高塚540番地2
電話(0943)23-4131/FAX(0943)22-3185
URL <https://www.hosp-yame.jp>



福岡県立精神医療センター

太宰府病院

Fukuoka Prefectural Psychiatric Center Dazaifu Hosupital

院長 小嶋 享二

〒818-0125
福岡県太宰府市五条3丁目8番1号
電話 (092)922-3137 FAX (092)924-4060
URL <https://www.dazaifu-hsp.jp/>
E-mail info@dazaifu-hsp.jp



福岡赤十字病院

日本赤十字社

院長 中房 祐司

〒815-8555
福岡市南区大楠3丁目1番1号
電話(0570)03-1211 FAX(092)522-3066
URL <https://www.fukuoka-med.jrc.or.jp/>

編集後記

ほすぴたる第773号をお届けします。

今号にも、お忙しい中を、当病院協会参与の中西裕二様をはじめ、多くの方々より貴重な原稿を頂戴いたしました。示唆に富む内容のものばかりで、著者の皆様に心より御礼を申し上げます。また、会員の皆様より、多数の暑中見舞い広告を頂戴し、深く感謝いたしております。どうもありがとうございました。

先日、テレビの音楽番組で、映画音楽の巨匠、エンニオ・モリコーネの特集がありました。すばらしい音楽が、映像の効果を倍増する例は多く見られます。モリコーネの代表作ともいえる「ニュー・シネマ・パラダイス」は、涙なしでは見られない映画ですが、音楽が聞こえてくるだけで、涙腺がうるんできます。

国民的映画とも言える「男はつらいよ」の音楽は、作曲家、指揮者として活躍した山本直純氏（1932～2002年）が作曲したものです。そのテーマ曲について、親友である世界的指揮者、故小澤征爾氏はこのように述べていました。「このテーマ曲は、出だしの第一声を聞いただけで、寅さんシリーズだとわかる。このような曲は容易に書けるものではなく、直純さんは天才です」。

さて、『ほすぴたる』の編集後記は、毎号、「ほすぴたる第〇〇号をお届けします」で始まります。この書き出しを見て、皆様は何を感じるでしょう？ ご自分で寄稿してみようか、と思われた方は、ぜひ事務局の方までお申し出ください。

（岡嶋泰一郎 記）

ほすぴたる

第773号

令和6年7月20日発行

発行 ◎ (公社)福岡県病院協会

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号
福岡県メディカルセンタービル 2F
TEL092-436-2312 / FAX092-436-2313
E-mail fukuoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp
URL <http://www.f-kenbyou.jp>

編集 ◎ (公社)福岡県病院協会

制作 ◎ (株)梓書院

〒812-0044 福岡市博多区千代3-2-1
麻生ハウス 3F
TEL092-643-7075 / FAX092-643-7095
E-mail : mail@azusashoin.com

編集主幹…中村 雅史

編集委員長…岡嶋泰一郎

編集副委員長…平 祐二

編集委員…壁村 哲平・岩永 知秋

中房 祐司・伊東 裕幸

横倉 義典・大嶋 由紀

第15回県民公開医療シンポジウム

運動しよう! 運動から始まる健康

日時 令和6年8月24日(土) 14:00~16:00
(受付 開場13:00)

会場 久留米シティプラザ Cボックス
〒830-0031 福岡県久留米市六ツ門町8-1

定員 144名(事前申込不要)
※当日会場での先着順となります。

入場
無料



① 開会のことば

公益社団法人福岡県病院協会 会長
九州大学病院 病院長

中村 雅史

② シンポジウム

■ 座長

公益社団法人福岡県病院協会 理事
ヨコクラ病院 院長

横倉 義典

● 第一部「生活習慣病と運動について」



「運動しよう!糖尿病のない 健康長寿社会を目指して」

久留米大学病院 病院長
久留米大学医学部内科学講座
内分泌代謝内科部門 主任教授

野村 政壽先生



「上手な血圧との付き合い方 ～身近なことに鍵がある 一運動・食事・睡眠～」

久留米大学医療センター 副院長
久留米大学医療センター 循環器内科 教授

甲斐 久史先生

■ 質疑応答

● 第二部「子どもから大人まで健康に育ち生きよう! トップアスリートから学ぶ運動の基本」

元男子7人制ラグビー日本代表キャプテン
ナナイロ プリズム福岡 (女子7人制ラグビーチーム)
ヘッドコーチ

桑水流 裕策先生

ナナイロプリズム福岡 選手数名



③ 閉会のことば



久留米シティプラザ Cボックス

〒830-0031 福岡県久留米市六ツ門町8-1 ●TEL: 0942-36-3000

主催 公益社団法人福岡県病院協会

後援 福岡県、久留米市、(公社)福岡県医師会、(公社)福岡県薬剤師会、(公社)福岡県看護協会、(公社)福岡県栄養士会、(公社)福岡県診療放射線技師会、(公社)福岡県理学療法士会、(公社)福岡県作業療法協会、(一社)福岡県言語聴覚士会、(公社)福岡県歯科医師会、(一社)福岡県臨床衛生検査技師会、(一社)福岡県私設病院協会、(一社)福岡県精神科病院協会、(一社)福岡県医療法人協会、(一社)福岡県病院薬剤師会、日本糖尿病協会福岡県支部、(一社)久留米医師会、(一社)大牟田医師会、(一社)八女筑後医師会、(一社)朝倉医師会、(一社)小郡三井医師会、(一社)大川三瀬医師会、(一社)柳川山門医師会、(一社)浮羽医師会、西日本新聞社、毎日新聞社、朝日新聞社、NHK福岡放送局、(株)福岡放送、RKB毎日放送、(株)テレビ西日本、KBC、テレQ(順不同)